



第11回 白子キャンパス 健康講座

「アレルギーについて考える」

講演 1 アレルギーの原因物質はなに？

アレルギーという言葉の語源は、オーストリアの免疫学者で小児科の医師でもあったクレメンス・フォン・ピルケ博士が1906年に医学専門誌に発表した論文が最初ようです。この論文のタイトル「allergie」は、ギリシャ語のallos (別の) と ergon (反応) を組み合わせた造語で、抗血清やワクチンに対する過敏反応に対し、想定外の反応という意味で、「allergie」を用いたのでしょう。本講座では、このような本来無害であるはずが、想定外のマイナス作用を示す「アレルギー原因物質」について考えます。

参考URL <http://www.nncj.nestle.co.jp/asset-library/documents/08-松田.pdf>

名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用生命化学講座 教授 松田 幹

講演 2 アレルギー体質ってなに？

現在、花粉症・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・蕁麻疹・喘息などのアレルギー疾患は国民病となり、国民の3人に1人が何らかのアレルギーを持っているといわれています。また、「アレルギー体質」という言葉は、小学生や幼稚園児が大人をまねて用いるぐらい一般化しています。しかし、いつ「アレルギー体質」が決まるのか？など正確に認識している人は少ないかもしれません。本講座では「アレルギー体質」について専門的な知識をまじえながら解説し、アレルギーがなぜ起こるのか考えます。

鈴鹿医療科学大学 薬学部 准教授 西田 圭吾

鈴鹿医療科学大学薬学部主催・日本薬学会東海支部協賛

2014 / 9 / 27 (土) 13:00 - 16:00

会場：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

〒513-8670 鈴鹿市南玉垣町3500-3 (駐車場完備)

(23号線 鈴鹿警察署前をに入る)

6号館 6101講義室

参加費：無料

定員：150名(余席があれば当日参加も可)

事前申込：住所、氏名、連絡先を明記し、FAXかEメールでお送り下さい。

お申し込み先 (白子事務課)

TEL: 059-340-0550 FAX: 059-368-1271

メールアドレス: kouza@suzuka-u.ac.jp

※本学構内およびその周辺は禁煙となっております。

